

伊藤忠都市開発 2014年度グッドデザイン賞 3プロジェクトで受賞



GOOD
DESIGN

「クレヴィア ライフ・ハグ」
「官民協働によるコミュニティガーデン活動」
「クレヴィア南砂」

—8年連続受賞—

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長 寺坂 晴男)は、2014年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を、下記の3プロジェクトで受賞致しました。今般の受賞により、8年連続の受賞となります。

【2014年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト・概要】

①「クレヴィア ライフ・ハグ」

「クレヴィア」へ導入する独自に開発した【総合防災プログラム】。居住者自らが日々の防災に関する備えが出来るよう啓蒙・支援する仕組みを構築。居住者のかけがえない暮らしと人生を大きな安心感で包むことを目指したプログラム。

②「官民協働によるコミュニティガーデン活動(クレヴィア南砂)」

「クレヴィア南砂」に隣接する江東区立金森公園における、東京都第二号となる官民協働の「コミュニティガーデン活動」。入居者と地域住民が自然に溶け込め合える仕組み。

③「クレヴィア南砂」

仙台堀川公園・金森公園に寄り添い、暮らしやすさを享受できる立地。公園隣接である立地特性を生かし、地域貢献・都市緑化推進・地域コミュニティ形成を目的として「コミュニティガーデン活動」を推進。

弊社「グッドデザイン賞受賞」紹介ウェブページ：<http://www.ipd.co.jp/gd/>

弊社は、今後も各プロジェクトの取り組みにおいて異業種とのコラボレーション等により、住まう人々にとっての豊かな暮らしを提案し、新たな生活価値の創造を目指して参ります。

①「クレヴィア ライフ・ハグ」

(応募カテゴリー: 住人向けの活動・取り組み)

概要:「クレヴィア ライフ・ハグ」は、当社の新築分譲マンション「クレヴィア」へ導入する独自に開発した【総合防災プログラム】。①コミュニティ形成②防災倉庫の標準化③信頼の構造という3つの観点から、多角的で多層的な安心の形を追求・具現化。特に①コミュニティ形成について、本来、居住者(管理組合)が主導で行うものだが、新築マンションへの入居と同時に管理会社がサポートに入り、居住者自らが日々の防災に関する備えが出来るよう啓蒙・支援する仕組みを構築。居住者コミュニティが醸成されることで、非常時の混乱の中でも助け合いが有効に機能。居住者のかけがえのない暮らしと人生を大きな安心感で包むことを目指したプログラム。

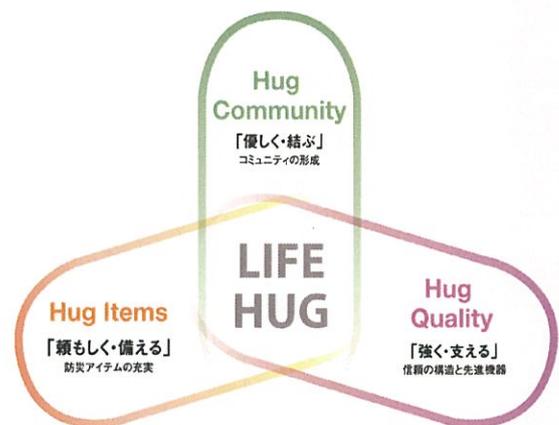
 GOOD DESIGN AWARD 2014



ウェルカムパーティーの様子



防災セミナーの様子



【CREVIA】の総合防災プログラム。
クレヴィア「ライフ・ハグ」

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

分譲マンション住民のための防災プログラムとコミュニティづくり支援。社会的テーマとなっている防災対策について、「共助」「自助」の考えのもと、マンション内での避難訓練や防災訓練、コミュニティ形成のための会合を開くなど、管理会社のサポートにより住民同士で日々の備えを積み重ねていくしくみづくりが評価された。

②「官民協働によるコミュニティガーデン活動（クレヴィア南砂）」

（応募カテゴリー：コミュニティ活動、社会貢献活動）

概要：伊藤忠都市開発は住宅開発において、地域貢献、建てて終わりではない入居後の仕組みづくりも住宅デベロッパーの使命であると考えた。クレヴィア南砂では入居者、地域住民の双方にとってプラスとなる「つながりの場」を提供したいと考え、東京都第二号の官民協働によるコミュニティガーデンづくりを通して、地域貢献、双方が自然に溶け込める仕組みづくりを実現。



2014年4月27日に開催した第1回目のコミュニティガーデン活動時の様子

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

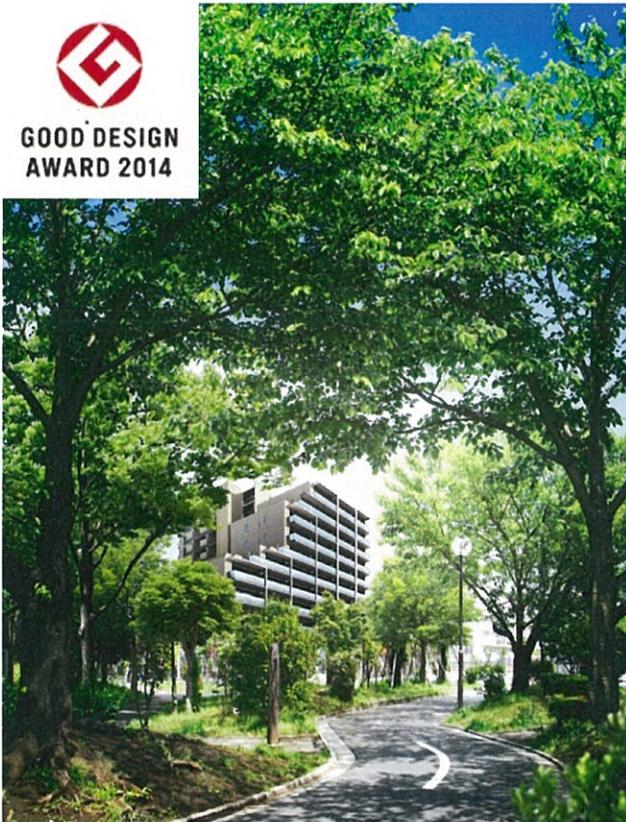
マンションの共有空間に留まらず、隣接する公共公園を取り込み、地元自治体と協働している点が特徴的で評価されました。

③「クレヴィア南砂」(東京都江東区、新築分譲マンション、応募カテゴリー:住宅・住宅設備)

概要:「クレヴィア南砂」は仙台堀川公園、金森公園に隣接。自然を享受できる立地特性を生かし、地域貢献、新旧住民のコミュニティ形成を目的にコミュニティガーデン活動を推進。地元町会と近隣住民を招き、ワークショップを開催し、公園改修計画立案と工事を実施。2014年4月、東京都第二号の官民協働によるコミュニティガーデン活動団体として江東区より承認を得た。



GOOD DESIGN
AWARD 2014



入居予定者・地域住民による花植えの様子

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

敷地周囲の自然環境を生かした集合住宅のデザイン、住民活動の誘発を促す交流空間の工夫や、入居者と地域住民とのつながりを生むための運営面でのサポートにも注力している。

<グッドデザイン賞について>

公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞は、豊かさと持続可能性に満ちた生活と産業そして社会の実現を目指し、グッドデザイン賞の理念に基づいた公正な審査をおこない、賞賛すべき優れたデザインを選び、広く推奨する制度です。

この制度は、通商産業省による「グッドデザイン商品選定制度」として1957年に誕生しました。

以来、半世紀以上にわたり活動を続け、今日ではその歴史と規模だけでなく、生活者からの広範な支持を得た制度として、国内外から高い評価を得ています。